

大人が楽しむ科学教室2026

千葉市 科学フェスタ
これからの私たち
2026

申込方法

申込フォーム 講座ごとに2次元コードまたはURLからアクセスし、申込フォームへお進みください。

※フォーム送信後、受付完了のメールがGoogleから自動配信されます。参加確定メールではありません。

往復はがき ※はがき1枚につき1講座1名のみご応募ください。

往信面裏側に応募講座名・申込者氏名・住所・電話番号をご記入ください。

宛先 ▶▶ 〒260-0013 千葉市中央区中央4-5-1 きぼーる7階 千葉市科学館「大人が楽しむ科学教室」係

※応募者多数の場合は抽選となります。申込フォームでご応募の方は**締切後に当選者のみ**メールでお知らせします。はがきでご応募の方は返信はがきをご確認ください。

※同一講座に複数回お申込されても1回のお申込として扱います。(申込フォーム・はがき共通)

※講座開始後のご入場や途中退出はできません。時間に余裕をもってお越しください。

※当日残席がある場合は、開始15分前より会場にて受付を行います(先着順)。

会場 10階 探究実験室

対象 高校生以上(テーマに関心のある小中学生の参加可)

定員 各回30名 ※12月26日(土)のみ異なる

料金 要常設展示入館料(裏面参照)

申込締切 12月講座…11月10日(火) 必着

2026年12月のプログラム

身近な科学シリーズ

12/13日 見えない毒を追う ―最先端の法中毒学―

13:30~15:00 講師 永澤 明佳(ながさわ さやか)| 千葉大学大学院 薬学研究院 法中毒学研究室 講師

毒物や薬物は目に見えません。しかし、その痕跡を科学的に分析することで、事件や事故、突然死の原因を明らかにできる場合があります。本講座では、法中毒学とはどのような学問なのかを紹介するとともに、最先端の分析機器を用いた毒物・薬物の検出や、実際の事例を交えながら、科学がどのように真実を解き明かしていくのかを分かりやすく解説します。身近な話題も交えながら、「見えない毒」を追う法中毒学の世界と、その社会的役割について紹介します。

【申込フォーム】

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScqotpeiIHHdK4WNWPsh8JlPlgV9050sLNNJhHtRE2kNQe3FcQ/viewform?usp=header>



健康の科学シリーズ

12/19日 生きものから学ぶヒトの病気と治療へのヒント ―小さな魚ゼブラフィッシュで探る老化と病気のメカニズム解明―

13:30~15:00 講師 伊藤 素行(いとう もとゆき)| 千葉大学大学院 薬学研究院 生化学研究室 教授

「人はなぜ歳をとり、脳や体に病気が起きるのか？」この大きな問いに、実は「ゼブラフィッシュ」という小さな魚を使った研究アプローチが活用されています。魚とヒトは全く同じではありません。ですが、共通点や「あえて違う」部分を読み解くことが、ヒトの病気を克服するための新しいアイデアに繋がります。本講座では、顕微鏡で捉えた細胞の映像や行動解析を交え、脳梗塞や老化、病気のメカニズムを分かりやすく解説します。小さな魚から広がる、病気の仕組み解明の世界を覗いてみませんか？

【申込フォーム】

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfll42iA5My4A8EgYlt-jGR0mgW5L4XHeGr8TCabi_b8QWHUQ/viewform?usp=header



メンデル講演会シリーズ

※この講演会は、メンデル協会との共催です。

12/20日 放射線被ばくによる染色体異常

13:30~15:00 講師 数藤 由美子(すうとう ゆみこ)| 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 計測・線量評価部 グループリーダー

ヒトの二倍体細胞のゲノムは、常染色体22対、性染色体1対からなります。ヒト染色体の同定・検出方法の歴史、数的・形態的特徴や、染色体異常に関わる疾患の例をお話しします。さらに、変異原の中から特に電離放射線を探り上げ、放射線の人体影響の歴史、放射線によって生じる染色体異常と被ばく線量との関係、線量推定方法、被ばく事故の対応例と準備態勢についてお話しします。

【申込フォーム】

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdxqYBKEY3t8iT3oAFSfUub1GbONx6SMHKA4YIj3MDzanpU5Ow/viewform?usp=header>



メンデル講演会シリーズ

※この講演会は、メンデル協会との共催です。

12/26日 光合成できる動物細胞を創る

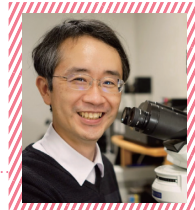
13:30~15:00 講師 松永 幸大(まつなが さちひろ)| 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻 教授

太古の昔、真核細胞が光合成細菌や藻類を消化せずに受け入れ、共生することによって植物が誕生しました。そのメカニズムを知るために、藻類を動物細胞と融合したり、動物細胞に葉緑体を導入したりしました。取り込まれた葉緑体や、動物と藻類の両方のゲノムを持つハイブリッド細胞の挙動を紹介し、人工的に光合成できる動物細胞を創る研究の最前線をお伝えします。

※本講座は6月27日に予定していた回の振替となります。前回当選者の他、若干名を追加募集します。前回当選者には別途ご連絡します。

【申込フォーム】

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSddgGpakiZMoOhITzR1p3jF450BIJv6-ZaMD2He3PXEbwSSNQ/viewform?usp=header>



2027年1月開催分の申込は、11月下旬頃より開始します。